

なばり

2010年(平成22年) 9月12日発行

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1
☎0595-63-7402 ㊚64-2560 ㊚info@city.nabari.mie.jp
http://www.city.nabari.lg.jp
携帯版 http://www.city.nabari.lg.jp/m_index.htm
バーコード読み取り対応の携帯電話端末から携帯版へ



▶ 主な内容 P2…マラソン大会参加者募集 P3-6…ごみ収集日程表 P7…農業委員会だより P8…各種相談日程、暮らしの情報

◆「ごみ収集日程表」と「ごみの分け方・出し方」を3〜6ページに掲載しています。抜き取ってご使用ください。



水くもの術



城壁越え登り術



手裏剣術

塀越え登り術

出現！新名所

「忍者の森」のような、お宝(地域資源)が、市内にはたくさんあります。キラリと光る地域資源を見つけ出したり結びつけたりすると、名張をもっとアピールできるのではないのでしょうか。市では、観光だけでなく、農林水産品、産地の技術、伝統文化などいろいろなお宝を「名張ブランド」として募集します。

皆さんが「これだ!」と思う名張のすぐれた商品、おいしい食べ物、観光地、名勝、工業製品、特徴のあるサービスなどをご紹介ください。

【例】〇〇商店のコロッケ、〇〇から見える景色、〇〇の桜、〇〇会社の△△技術、〇〇地区の△△祭 など

応募方法 10月29日までに市役所4階産業政策室(〒518-0492 鴻之台1-1)に郵送、ファクス(64-0644)または電子メール(sangyou@city.nabari.mie.jp)で、住所、氏名、連絡先、推薦するもの、推薦理由を記入してお申し込みください。

「忍者の森」が7月10日、赤目四十八滝に登場し、人気を集めています。

「忍者の修行した地で、忍者体験ができるのはおもしろいですよね。水くもの術は意外と難しく、わたしと長男は川に落ちちゃいました(笑) 修行体験に妻、子ども2人と参加した南さん(京都市伏見区)は、夏休みのいい思い出になったようです。

赤目四十八滝の年間入山者数は、平成4年の34万人を頂点に毎年減少し、平成21年の年間入山者は18万人を割り込みました。この状況を打開しようと、赤目観光協会は、子どもが思いのままに楽しめるように、体験型の施設、水に親しむ施設として「忍者の森」を整備しました。

赤目四十八滝は、「日本の滝百選」「平成の名水百選」などに選ばれている観光地です。そこは昔伊賀忍者が修行を行ったといわれる地でもあり、忍者の修行体験ができる「忍者の森」という観光資源が組み合わさることで一層赤目四十八滝の魅力が増しているようです。

必死に手先と足先で全体重を支えながら壁を進む「城壁越え登り術」。塀をよじ登っても、縄はしごで降りるのが難関の「塀越え登り術」。5メートル先の的に当てるのがなかなか難しい「手裏剣術」。大人も、バランスを崩し、川に落ちてしまうことがある「水くもの術」。こうした忍者の修行体験ができる「忍者の森」が7月10日、赤目四十八滝に登場し、人気を集めています。

「忍者の修行した地で、忍者体験ができるのはおもしろいですよね。水くもの術は意外と難しく、わたしと長男は川に落ちちゃいました(笑) 修行体験に妻、子ども2人と参加した南さん(京都市伏見区)は、夏休みのいい思い出になったようです。

赤目四十八滝の年間入山者数は、平成4年の34万人を頂点に毎年減少し、平成21年の年間入山者は18万人を割り込みました。この状況を打開しようと、赤目観光協会は、子どもが思いのままに楽しめるように、体験型の施設、水に親しむ施設として「忍者の森」を整備しました。

赤目四十八滝は、「日本の滝百選」などに選ばれている観光地です。そこは昔伊賀忍者が修行を行ったといわれる地でもあり、忍者の修行体験ができる「忍者の森」という観光資源が組み合わさることで一層赤目四十八滝の魅力が増しているようです。

名張の「お宝」は？ あなたが選ぶ名張ブランド募集

～名張で育つ「お宝」(地域資源)を探し教えてください～ ☎ 産業政策室 ☎ 63-7623

※応募いただいた人の中から抽選で20人に名張の特産品をプレゼント。応募いただいた「お宝」は11月13日(日)・14日(月)の「とれたて!なばりあんど消防フェスタ2010」で発表します。

提案公募型事業 お宝(地域資源)を見つける方法を伝授します!

いっしょに歩いて「お宝」を再発見しませんか?
実施団体: 特定非営利活動法人 なばりNPOセンター ☎ 64-0051
日時 9月20日(祝) 午前9時30分～午後5時
集合場所 総合福祉センターふれあい(丸之内)
講師 安溪 遊地さん(山口県立大学国際化学部教授)
定員 30人 ※先着順 参加料 1,000円(昼食含む)
申込 9月15日(金)までに電話で実施団体へ

選「平成の名水百選」などに選ばれている観光地です。そこは昔伊賀忍者が修行を行ったといわれる地でもあり、忍者の修行体験ができる「忍者の森」という観光資源が組み合わさることで一層赤目四十八滝の魅力が増しているようです。

※忍者にふんずける案内人が付く「忍者修行体験」は、毎日午前10時～午後1時までの2回開催。参加費は1,350円～1,700円(忍者衣装のレンタル料500円を含む)。詳しくは、赤目観光協会(☎63-3004)へお問い合わせください。

▼「広報なばり」は新聞折り込みで配付しています。また、公民館や図書館などの公共施設、郵便局、スーパーおよびコンビニ(協力店)などに置いてあります。そのほかの入手方法は、広報対話室(☎63-7402)へお問い合わせください。▼「広報なばり」の発行と主な内容を電子メールでお知らせします。詳しくは市のホームページをご覧ください。